



るらてる



2016年
1月
No.817

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp
■発行人■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp
■印刷■ 精文堂印刷株式会社
■定価■ 1部 40円 (郵税を含む)
■振替口座■ 00190-7-71734

説教「師一人」

日本福音ルーテル横浜教会、横須賀教会 牧師 東 和春

「主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、すべてのもの父である神は唯一であって、すべてのものの上にあり、すべてのものを通して働き、すべてのもの内におられます。」
(エフェソの信徒への手紙 4章5〜6節)

私は2人の師に出会ったことを感謝しています。1人は主イエス・キリスト、もう1人はH医師です。幼いころから病弱であつた私は、よく病院に通いました。今のようにな家用车があるわけでもなく、バスがあつたわけでもありません。容体が

悪くなれば、子どもの足で小1時間かけて歩きまわす。途中にお店や休憩する所もありません。家に帰ると容体が悪くなつてもおかしくありません。牧師になり帰省した折に、H医師をお尋ねしました。すでに引退しておられたのですが、名前を覚えていてくださり、ご自宅に

招いてくださいました。そして帰り際に菓子折りを見つけていた看護師がそつとつぶやきました。「先生に菓子折りを持ってくる患者さんはようけいおらずばつてん、先生から菓子折りをもらったのはあんただけばい」。それほどいつも病院に通つていたということかもしれ

も同じようなことがあることを知りました。イエスさまのお弟子は、人々に手を当てて癒しを祈ります。イエスさまは子どもたちに手を置いてこう言われます。「天の国はこのような者たちのものである。」(マタイ19・14)

教会に導かれてH医師の存在の大きさが分かりました。単に肉体の病を治してくださっただけではない。私が救われるために治してくださったのだ。バプテスマのヨハネのように、H医師も語つておられるように思えたのです。「あの方を見なさい。そのために私は病気を治しているんだよ」。



H医師が教会や牧師についてどのような理解をもつておられたかは定かではありません。でも、私はうれしかつたのです。幼い私がこの病院に導かれたのは、体も心も元気になり、神さまの御用をするためであつた、そう確信したからです。

今は分裂の時代です。神のみ国とこの世が引き裂かれ、生と死が、人と自然が、そして体と心が引き裂かれています。そこに本当の平安はありません。すべては主にあつてひとつ、そのために働くことは教会の大切な務めではないでしょうか。聖書もそのことを示しています。イエスさまが十字架に死なれた時、神殿の幕は真つ二つに裂けました。天地を隔てていたものは取り除かれ、天の恵みが地に降り注いだのです。そしてクリスマスの日、天使は歌います。天には栄光、地に平和。

これまで日本福音ルーテル教会でご奉仕させていただいたことを心から感謝し、誇りに思います。教会のお働きの上に、主のお導きと平安を祈ります。アーメン。



[Bartolomé Esteban Murillo [1617-1682]: "Christ healing the Paralytic at the Pool of Bethesda"[1667-70], The National Gallery]

病院に着くとH医師は真つ白な診察台に寝かせ、手でお腹を触ります。真つ白で、冷たく、私のお腹より大きいと思われる手で触れた。この手が触ると病気が治るんだ、幼い私はそのように思いました。それが終わると、私の腕より大きな注射器が待つていました。「坊やは豪傑ばい」。ただ痛さを我慢しただけなのに、H医師はいつもこう言つてほめてくださいました。

後に、私は教会に導かれました。そして聖書に「よか仕事つたい。がんばらんばい(良い仕事だからがんばりなさい)」。

「神の正義」の理解に到達する。この論争の「拡大再生産であつた。同じ問題、神の恵みと人間の自由意志の関係」が論争の中心にあつた。過激なアウグスティヌス主義者であつたルターは苦闘の果てに、アウグスティヌスのように「人間の正義」に正面から対立する「神の正義」の理解に到達する。

大募集!
ルターの言葉&豆知識

宗教改革 500 年に合わせて発行するパンフレット「ヤツオリ」作りにあなたの知恵と力を貸してください。宗教改革もその心がパンフレットの形で人々へ届けられました。500年目のパンフレットを一緒に作りましょう。

あなたが好きなルターの言葉やあなたが知っているルター豆知識を教えてください。

以下のサイトへアクセスして、フォームに入力するだけです。
<http://qq3q.biz/pMfA>

2次元コードからもアクセスできます。

宗教改革 500 年情報サイト
(<http://luther500.wix.com/jelc>)にも窓口があります。

第50回
教職神学セミナー

日程: 2016年2月9日(火)~12日(金)
会場: オリンピック記念青少年センター (東京・代々木)

テーマ: 「十字架の神学」
内容: 宗教改革 500 年を直前にして、ルター神学の中心テーマを現代の宣教の脈絡で学ぶ。

特別講師: 青野太潮先生
講師: 鈴木浩先生、宮本新先生、賀来周一先生

教職の方々に学んでいただくためのプログラムです。どうぞ、ご予約ください。また教職をお送りください。詳細は教職宛に送られる案内をご覧ください。

主催: 日本ルーテル神学校



議長室から

新しい年を迎えました。この1年間も皆さまの上に、諸教会、施設、学校、幼稚園、保育園の上に、神様の祝福をお祈り申し上げます。

神様の時の流れに生きる

総会議長 立山忠浩

まだクリスマス一色だからです。まるで巷の時の流れに抵抗しているかのようです。

意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。時代の流れに抗した文豪であり、求道者でもあった漱石の偽らざる言葉に、ある種の共感を覚える日本のキリスト者は少なくないでしょう。



インターネット聖書講座「ルーテルアワー」の人気コーナーである、伊藤早奈牧師による「さあなの部屋」より、おすすめ記事をお届けします。
http://biblestudy.jp

「イエス様と出会う」

伊藤早奈

「シメオンが、霊に導かれて神殿の境内に

入って来たとき、両親は、幼子のために律法の規定どおりにいけにえを献げようとして、イエスを連れて来た。シメオンは幼子を腕に抱き、神をたまたえて言った。『主よ、今こそあなたは、お言葉どおり、この僕を安らかに去らせてください。』

にされる方、一日一日が健康であることを祈る方。その一人一人にいつも主が共におられ一人一人が一瞬一瞬を大切に生かされますように。このようにみ言葉から聴くことができる「今」が与えられていることを感謝します。このお祈りを主イエス・キリストのお名前を通してお祈り致します。アーメン。

活された時があった。私たちに生まれた時があり、洗礼を受ける時がある。信仰が鍛錬される時があり、信仰をもって終える時がある。いわば横の流れにくさびが打ち込まれたような特別な時のことです。

イエス様と出合い感、祝福されたシメオンが思わず「神様ありがとう」という気持ちで神様を賛美したように、私たちもみ言葉を通して聖霊として働かれるイエス様に出会える時がある。でも、何にも増して、神様に関する時を大切にしたいです。



福島における日本ルーテル教団(NRK)の働き

日本ルーテル教団東日本大震災支援対策担当スタッフ 北澤 肯

東日本大震災に際して始まった4つのルーテル教会による「ルーテルとなりびと」の活動が終了した後、NRKでは特に福島島の放射能被害に焦点を当てて支援活動を行ってきました。最も力を入れているのは「福島県の児童養護施設の子どもの健康を考える会(ICA福祉)」の支援です。



カレーづくりの支援に取り組む北川逸英牧師

ICAF福祉は医療の専門職にある2人のクリスチャンが思わず「神様ありがとう」という気持ちで神様を賛美したように、私たちもみ言葉を通して聖霊として働かれるイエス様に出会える時がある。でも、何にも増して、神様に関する時を大切にしたいです。

長野県松本市へ移住した中学生の共同生活を支援する「松本子ども留学」の子どもたちにインドカレーを作りに行ったり、放射線測定器とGPSを組み合わせたホット・スポット・ファインダーを福島県キリスト教連絡会に寄贈したりと、小さな働きですが、福島への関わりを続けています。

教会手帳住所録の修正

2016年版教会手帳住所録につきまして、次の通り表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。また、住所録校正後に変更のご連絡をいただきました件につきまして併せてお知らせいたします。

- P15教会 水俣教会 電話・FAX変更 共用(096)684-9372
- P16引退 白石郁夫 住所変更 865-0016 熊本県玉名市岩崎382湯と里館
- P18引退 V.ソベリ 電話変更 358-4000-963828
- P20百天牧師配偶者 石居美智 住所変更 181-0015 三鷹市大沢3-10-20
- P49学校 浦和ルーテル学院 住所 電話 FAX変更 336-0974 さいたま市緑区大崎3642
- 同 藤倉三男(校長) 福島宏政(校長) 343-0035 越谷市大道767
- 同 小澤聖一(事務局長) 小澤聖一(法人事務局長)
- 同 小中校事務局長 追加 斎藤義和(小中高事務局長) 349-0106 久喜市菖蒲町菖蒲5013-365

礼拝式文の改訂



⑳改訂式文説明会報告

式文委員会委員長

平岡仁子

4月に行われた西教区西中国地区を皮切りに、各教区・地区における改訂式文説明会は、左記の通り全国10カ所に式文委員を派遣し、実施されました。

4月29日(水)西教区西中国地区説明会(宇部教会)／6月20日(土)西教区関西地区二日神学校(大阪教会)／7月4日(土)東教区宣教フォーラム(東京教会)／7月11日(土)南部九州教区役員研修会十信徒(神水教会)／7月12日(日)北部九州教区役員研修会十信徒(博多教会)／8月30日(日)北海道特別教区帯広教会改訂式文説明会(帯広教会)／9月12日(土)東海教区伝道セミナー(みのり教会)／9月23日(水)西教区東中国・四国地区式文講習会(広島教会)／10月10日(土)北海道

特別教区函館教会改訂式文説明会(函館教会)／10月11日(日)札幌(札幌教会・恵み野教会)改訂式文説明会(札幌教会)

教会の皆様は積極的な取り組みに感謝すると共に、各教区・地区における説明会で聞かれましたご意見の一部を、ここに記します。

●音楽に関して

口ずさみ易く、親しみ易く、歌いやすい曲を。奏楽者のために複雑でない曲を。／伝統的な音楽を用いてほしい。／メロデーは現在のものを生かしてほしい。

●改訂式文に関して

全体的な推敲、言葉の統一性(漢字の使用等)が必要である。／バラエティーに富むのは良いが高齢化により、選択作業がしんどく感じられる。／洗礼は決意である。洗礼想起は洗礼を強いるものであり、現状を理解していない。／配餐において、未信者に対する配慮を。また洗礼に与ることへの招きのことも必要。

未信者への祝福に関して、信仰と職制委員会に見解を尋ねることが必要。／主の祈りは文語訳、NCC訳、カトリック聖公会訳の3訳併記を望む。／派遣の祈りの文言に選択肢を加え、自由祈祷に換

えることができるように。「集めるもの」よりも、「感謝のささげもの・感謝の献金」の方が望ましい。／文脈から推測(誤りを恐れずに)すると、み民イスラエルは「神を信じ、従い、神に愛される人」と解してもよいのではないか。／式文はルーテル教会のアイデンティティだからこそ、古いもの、伝統を大切に。／言葉をその時代に相応しく伝えるため、また学術的な発展と共に、なされる重作業の上に改訂式文が作成されていると思うと、無下に評価するのは如何なものか。／茶、黒、青式文どれを使用してもいいという通達があり、改訂式文も同じような姿勢で進められるのは、改訂目的や意図を、全体的にも個人的にも見失うばかりだ。／派遣の部の奉献は恵みを頂き、献金し、神様に仕えて行くこうという気持ちがある。／式文が改訂されたら早い時期に今回のようなセミナーを企画してほしい。理解を深めることにより、神様への応答が内から出、礼拝に出席できる喜びの気持ちも多くなる。

●今後、式文委員会は更なる検討を加え、改訂式文の第2版を作成していきます。



③主の洗礼と私たちの洗礼

キリスト、われわれの主はヨルダンにいられた

ルターの会衆讃美歌の中には一連のカテキズム讃美歌がある。礼拝でも歌ったであろうが、とりわけカテキズム教育の機会に、特に子どもたちと歌ったことだろう。小教理問答に見られる、本来子どもに問いと親の信仰告白の答えに示される短い解説に比べると、歌うのだからかなり長いもの、子どもたちは歌い

ながらそれぞれの讃美歌が示す信仰を心に留めたに違いない。

洗礼に関するカテキズム讃美歌は他のものより遅く1541年に作詞されたが、翌年には低地ドイツ語にも訳されて歌われているから、待たれていた讃美歌だったと思われる。

ヨハネによるキリストの洗礼から歌い始めて、われわれ人間の洗礼の意味が歌われる。決して短くはない各節だが、それが全7節も続くという長い讃美歌に込められたルターの信仰の思いが伝わって

くる。キリストの洗礼は神からの委託の場、われわれ人間の洗礼はキリストによるその委託の実現であって、これによってわれわれ罪人が罪赦されて、キリストと共なる者とされるという恵みがはつきりと伝えられる。

教会讃美歌にこれが訳されて載っていないのは誠に残念というほかはない(『礼拝と音楽』に載る私の訳詩が目にとまるなら、ぜひ見ていただきたい)。教会讃美歌の改訂の際には、このようにルーテル教会にぜひ必要と思われる

讃美歌を加えて欲しいと願う。バッハはこの讃美歌に基づくカンタータや、これを中に含めたカンタータを残していない。しかし晩年のクラヴィア練習曲集第3部にはこれらのカテキズム讃美歌が大小の教理問答になぞらえて作曲したか、大小2曲ずつのコーラル変奏がある。手鍵盤で演奏できる小曲の方はぜひとも主の洗礼日の礼拝でオルガン・ストに演奏してもらい、聞く会衆は自らの洗礼を新たな恵みとして心に刻みたいものである。

第23回全国ディアコニア・セミナー報告

箱田清美

(唐津教会・小城教会)

今回のセミナーは『聖書の学びとディアコニア(天におけるように地のの上にも)』と題して、大阪のろうてるホームの改築に合わせて、大阪教会とろうてるホームを会場として行われた。内容は、3つ。①「福祉の立場から教会に期待すること」と題して、施設長の石倉智史さんから基調講演。日本

本の福祉行政の危うさと現場の苦悩、まただから

こそ教会への期待が大きいのだが、現実の教会の宣教の中での福祉の位置づけは、小さいのでは?との考えさせられる提起もいただいた。②「迷走・暴走する日本の安全保障(一人ひとりが日本の将来を考える)」と題して、内河恵一さん。ここでは最近の安保関連法成立に

関しての日本の安全保障の危うさにつき、豊富な資料に触れながらの話を戴いた。ご承知のとおり講師は実践家であり、自己の生活体験からの発言であり、聴く側も真摯に成らざるを得ない重みがあった。この発題を聞き

つつ、憲法9条の曲解集団的自衛権のこと、内閣法制局長官更迭、NHK会長据替、砂川事件判決の結論のすり替えなど、現在の政府の動きは、一つひとつがバラバラのものではなく、現在の日本の国家権力機構の中核に在る「人」の問題なのだと思わされた。議論には至らなかったが、キリスト教会は?クリスチャンは?この一連のうごめきの向こうにある、人間の闇のようなものに、どう対峙するべきか考えさせられた。最後は③岡愛子さんが、ご自分の人生を振り返りつつ、ルーテ

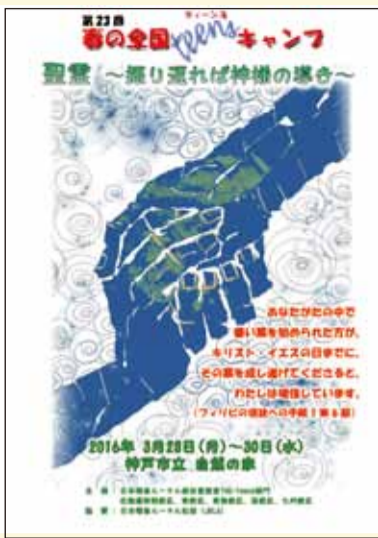


ル教会に身を置いてきた神の恵みの生涯を証しされた。ルーテル・アワーに導かれ、苦悩の中でのいろんな職場での体験、教会での働きの場、そして昨年から、ろうてるホームに生活の場を与えられているという。溢れるようなこやかさと澄み切った張りのある声での証しに慰めを受けた。

今回の集まりは、20名ほどの参加に過ぎなかったが、内容は教会がその働きの中で、神の国の宝としなければならぬこととの琴線に触れたものであった。それだけに大阪地区の教会の信徒方との

第23回 春の全国ティーンズキャンプ参加者募集

■期間 2016年3月28日(月)～30日(水)
 ■対象 12歳～18歳 (2016年4月1日時点)
 ■会場 神戸市立自然の家
 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町中一里山1の1



■テーマ
 聖霊～振り返れば神様の導き～
 ■主題聖句
 「あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。」(フィリピの信徒への手紙1章6節)
 ■参加費 1万円
 (1月31日までの申込み。それ以降は1万1千円)
 ※交通費別途。間際のキャンセルの場合、キャンセル料が発生します。

■申し込み 2月21日まで
 (飛行機、新幹線の手配のため早目にお申込みください)
 ■申し込み方法
 こちらの URL へアクセスしてください <http://tng.jelcs.net/teenscamp2016/>

携帯・スマホからは、2次元コードからもアクセスできます。
 ・所属教会の牧師から参加の承認を必ずもらってください。その上で、教会もしくは牧師のメールアドレスを聞いてください。メールアドレスが無い場合は、電話番号でも可能です。
 ・正式登録されると下記の TNG-Teens ブログに教会名とイニシャルが表示されます。申込みから数日かかります。
 ・サイトからの申し込みができない場合、「申し込み書&アンケート」に必要事項を記入し、次のいずれかに送ってください
 電話&FAX 078-691-7238(神戸教会)
 メール harukyan.moushikomi@gmail.com
 郵便 〒653-0804 神戸市長田区寺池町2-4-7 神戸教会 松本義宣

問合せ先 電話 080-6106-0794(永吉穂高)

春キャンについて、また TNG-Teens について、詳しくは TNG-Teens ブログ <http://tngteens.hamazo.tv/> へ



野口泰介先生を偲ぶ

定年教師 宇野正徳



1936年9月26日～2015年11月14日
 接手 1964年

敬愛する野口泰介先生は、11月14日に主のみに召されました。その2日前、松本義宣牧師から「野口泰介先生の容体があまり良くなり、野口先生と同期の先生方に連絡を取ろうと思いましたが、どなたに連絡を取ってよいか分かりませんので……」

との知らせを受けました。野口先生が入院されていることも、病状がそこまで進んでいるとは知りませんでしたので、とにかく会って少しでも元気を取り戻していただければと、急ぎ、お見舞いに行くことにしました。その矢先、「野口先生は今日の午後、お亡くなりになりました」との報告を受け、一瞬、言葉に詰まりました。まさか、こんなに早くに逝くとはと信じられない気持ちです。驚宮の神学校で4年間、机を並べ、寮生活を共にしてきたクラスメイトだけに惜別の思いです。

野口泰介先生は、1936年(昭和11)に北九州市で生まれ、熊本大学教育学部心理学を卒業後、1959年に日本ルーテル神学校(鷺色)に入学し、引退までの41年間、松本、室園、甘木、三原、神戸、日田の各教会で伝道・牧会に従事し、多くの人々に福音を説き、キリスト教信仰へと導きました。

そうした活動の傍ら現在の教育問題や子育てに見るいじめや虐待を憂え、その問題に悩む人たちに少しでも役に立つならばとペンを執りました。『ほんとうの私が生きたい』、『子育てと聖書』、『負けて勝つ神』などで

野口先生に与えられた数々の恵みを覚えつつ、79年の生涯を終えた野口先生の上に主の平安を祈ります。

第26回総会期
 第5回常議員会報告
 事務局長 白川道生

▼諸活動、委員会報告
 初日は、立山忠浩議長から今期の基本姿勢として提示されている「第6次総合方策の実践、特に実質を伴った推進を目標し、重点的課題を抽出した取り組み」に関する議長報告、以下、事務局長、宣教・広報・管財・総務の4室、世界宣教主事、各教区、常置委員、常設委員その他委員会、それぞれの活動報告、加えて今回は、9月に行われた事務処理委員会の決議(宗教改革500年記念事業の件)承認を含むすべての報告が承認されました。

▼審議事項
 審議事項では、米国より来日した短期信徒宣教師(J3)の派遣が決定しました。熊本のルーテル学院中学・高校と、文京カテリーナ及び本郷学生センターへ2年間の派遣となります。

教会建物に関する建築申請が2教会より提出されました。東教区の小岩教会は、東京都による災害対策道路拡幅に伴い、教会堂・牧師館と保育園舎を合築で2017年3月までに新築する計画です。同じく、東教区の東京池袋教会は、老朽化により、牧師館を2016年6月までに新築する計画です。いずれも承認されました。

毎年11月常議員会で決定するのが「次年度教職給与」、「次年度協力金」、「次年度JELC会議日程」です。加えて2016年5月に開催される「第27回全国総会」のため総会準備委員会設置を決定しました。